

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	福祉まつり補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部	福祉課	担当者	柴山雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	01	地域福祉の理解促進				
事業の目的	地域福祉の祭典「福祉まつり」を開催し、市全体が福祉について考え、体験し、お互いに触れ合う場を提供する。						
事業の概要	さくら市福祉まつり実行委員会を運営するさくら市社会福祉協議会に補助金を支出し、事業運営を支援する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	0	930			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	福祉まつり参加団体数	団体	0	0	78	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	これまでの集合形式による開催方法のみならず、アフターコロナを見据えた開催方法の検討が必要。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市社会福祉協議会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	君島成美				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	社会福祉協議会の活動に賛同する方が増加し、市民主体による自主運営比率が高まる。						
事業の概要	社会福祉施設整備費・運営費補助金として、運営費（人件費）に対して補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	32,209	32,567	37,039			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	社会福祉協議会の自主運営比率	%	75.76	77.62	77.94	未定
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	自主運営比率が令和2年度と比較して1.86ポイント増加した。今後も自主運営の強化に向けて協議する。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	喜連川社会福祉センター管理業務			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	君島成美				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	高齢者等への健康の増進、教養の向上や各種福祉相談など、幅広く社会福祉事業を市民が利用することができ、福祉の向上が図られる。						
事業の概要	指定管理者制度を導入し、社会福祉法人さくら市社会福祉協議会に施設管理及び事業の実施を委託している。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	1,985	1,985	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	年間施設利用者延べ人数	人	995	943	1,500	2,000
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症の流行により、市民の感染防止意識が徹底され、教室利用者の2/3、施設利用者の1/2が例年比減となる結果であった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	氏家福祉センター運営事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 高齢課	担当者	安達 恭子				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	高齢者等への健康増進、教養の向上や各種相談等を通し、明るい生活の営みに貢献する。						
事業の概要	高齢者及び身体障がい者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。（指定管理者：さくら市社会福祉協議会）						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,117	4,902	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	2,661	2,066		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	趣味の講座やサロンを実施するなどの工夫で、多くの高齢者が健康増進、憩いの場としてセンターを利用し、十分な成果が出ている。※令和3年度においては、新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度と同様に感染症発生前に比べて、講座及び団体利用回数が減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	生きがいセンター運営事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 高齢課	担当者	安達 恭子				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	02	地域での福祉活動の推進				
事業の目的	高齢者が生きがいセンターを教養、創造活動の場として利用することにより、健康を維持し生きがいを持ってもらう。						
事業の概要	高齢者福祉の増進、社会参加を促進するためにセンターを設置、運営する。 (指定管理者：さくら市社会福祉協議会)						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	528	528	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	年間利用者数（延べ）	人	931	1,336		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	多くの高齢者が憩いの場として利用しており、十分な成果がでている。趣味の講座等の実施により利用が増えるように工夫をして施設の運営を図っている					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	声かけ収集事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	大島 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動の推進				
事業の目的	高齢者世帯や障害者世帯の家庭ごみを戸別回収することにより、ごみ搬出に係る負担を軽減し、併せて安否の確認が行える。						
事業の概要	ごみの収集は、各利用者の希望する曜日に合わせ、週1回とする。臨時職員、1名体制。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,576		1,720		1,874	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	緊急連絡先への通報件数	件	0	1	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	対象世帯について、令和3年度中は、警察署又は消防署への緊急連絡は1件あった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	民生委員事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	岡本尚大				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	民生委員児童委員研修会等に参加し、民生委員としての知識が高まり能力が向上する。						
事業の概要	民生委員児童委員協議会が行う事業（研修会等）に対し助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	7,573	7,818	8,351			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	活動日数	日	5,762	5,910	6,500	7,400
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルスの影響により、中止となった定例会・研修会が多かったが、今後もイベントの参加による地域連携、福祉ニーズの多様化に伴う知識を養うため定例会・研修会を開催し、民生委員に求められる地域での役割を果たしたい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	心配ごと相談事業			事業開始年度	平成27年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	柴山雅子				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	市民のあらゆる相談に応じる窓口があり、市民が安心して生活を送ることができる。						
事業の概要	毎月1回心配ごと相談を行い、生活上の悩み事全般の相談を受ける（さくら市社会福祉協議会への委託事業）。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	150	172	129			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	相談者数	人	7	13	13	13
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	相談者は13組、17件。新型コロナウイルスの影響により9月は中止となったが、事業実施について市広報紙やホームページを活用し、市民への周知促進に努めたい。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	包括的支援体制整備事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	柴山 雅子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	制度や分野を超えて地域住民や多様な機関が「丸ごと」つながることで、地域共生社会の実現を目指す						
事業の概要	相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、多機関協働、支援プランの作成						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		6,029		17,166	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	地域共生センターSAKUTOMOがどれだけ相談を受けているか	件		91	200	300
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	開設当初はどれだけの相談があるか見込めず、相談員の配置を最低限の常勤1名、非常勤1名の合計2名としたため、活動可能な範囲を大きくできなかった。しかしながらそのような状況であっても、多機関と連携しつつ伴走的支援を行うなど、一定の活動ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	見守り福祉ネットワーク推進事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	健康福祉部 高齢課		担当者	安達 恭子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	03	見守り活動・相談体制の充実				
事業の目的	要援護者が安全かつ安心して生活できる						
事業の概要	見守り協定を締結した協力事業所等が市と連携し、要援護者を見守り、異変の早期発見と迅速な対応を図ることにより、安全かつ安心して生活できる環境の構築を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	471		1,199		532	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	見守りに関する協定件数	件	32	32		
	活動	災害時避難行動要支援者名簿掲載同意者数	件	1,541	1,538		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	見守りの体制が整備され、日常生活を送るうえで支援を必要とする方が、安全かつ安心して生活できる環境が維持できている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	指定難病患者見舞金支給事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	柴山 晶子				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	指定難病患者及び保護者の苦労を見舞う。						
事業の概要	原因不明や治療方法の確立していない難病に罹患した方に見舞金（年額2万円）を支給する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	5,120	5,400	5,500			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	受給率	%	76	80	80	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受給者証更新時に申請案内のチラシを配付したことにより受給率が上がった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	地域福祉計画策定事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 福祉課	担当者	柴山雅子				
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしを続けられるために地域社会の課題に取り組む地域福祉の実現を目的としている。						
事業の概要	住民や福祉団体等の意見を踏まえたうえで、地域における高齢者、障がい者及び児童の福祉に関し共通して取り組むべき事項等を盛り込んだ地域福祉計画を策定する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度	3年度	4年度			
	実績/当初予算	実績	実績	当初			
	総事業費	0	2,485	0			
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	地域福祉計画策定	策定	1			
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍であったため、策定委員会の開催が4回のうち2回書面開催となったが、事業に滞りはなく、令和4年3月に策定。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	さくら市遺族会補助事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 福祉課		担当者	君島成美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	遺族会の各種事業（戦没者合同慰霊祭等）・研修等を通し、会員の親睦と交流を深め、会の発展と遺族の福祉向上を図る。						
事業の概要	市健康福祉事業補助金交付要綱に基づき、事業内容を審査し、団体運営費に対し補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	213		213		171	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	各種事業参加延べ人数	人	38	72	150	230
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、参加準備をしていた国県主催の事業は参列辞退や代表のみの参列となり、一部活動が縮小となってしまったが、本会理念の継承のため、事業内容を工夫して企画し、安全に可能な範囲での活動を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調査（通常評価事業 事後評価）							
事務事業名	骨髄移植ドナー支援事業				事業開始年度	平成28年度	
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	高根幸江		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	01	助け合いと支え合いの地域福祉				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	骨髄等の提供時の経済的負担を軽減することで提供者を支援し、移植の推進やドナー登録の増加を図る。						
事業の概要	骨髄又は末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		210		210	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	交付申請者数	人	0	1	1	1
	活動	交付申請事業所数	件	0	1	1	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	ドナーについての問い合わせあり。市ホームページや広報で周知を図った。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	